



いよいよ師走・・・だんだん寒くなりました。

11月までは晩秋の中で暖かい日が続いていましたが、12月の声を聞くと急に寒くなりました。新型コロナウイルス感染症も少しずつ広がりをみせる中、風邪症状を訴える子供も増えています。保健だよりでもお知らせがありましたように、冬の健康づくりの核は、「①睡眠②栄養③休養」です。時間はだれにでも平等に与えられています。子供一人一人が工夫した時間の過ごし方をして、健康な体づくりと望ましい生活習慣を、栄養については温かい料理など、できる範囲で工夫してください。

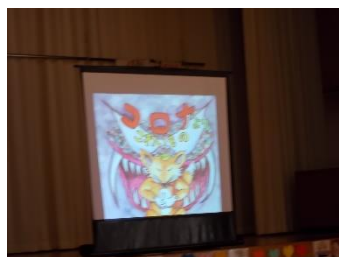
4年生 ふるさと・環境学習

11月25日(金)4年生がふるさと・環境学習に出かけました。市内の4年生全員が佐世保市の自慢である九十九島の海や自然を見学し、浜辺や島で生きている珍しい動植物を守っていかうとする心を養います。また、佐世保市科学館では太陽観測やプラネタリウムを体験し、天体に関する知識を体感的に学びました。本物を学ぶことで目と心の中に学びが刻まれた一日となりました。



なかよし(人権)集会

12月8日(木)なかよし集会を行いました。まず校長から、人権は「安全」「安心」「平等」が守られている環境であることを具体的な場面を紹介しながら話しました。そして、その次が最も紹介したいものです。



実を言うと、この日はゲストティーチャーをお招きしていました。佐世保市人権擁護委員の6名の方々です。人権を守り、差別や偏見のない社会にするために、日々活躍されている方々です。この時間は子供たちに身近な人権を考えてもらうためにスライド紙芝居「ほんとうの怖いもの」を演じてくださいました。



新型コロナウイルス感染症によって差別や人権侵害を受けている立場の方々やその周りにはいる人物について、動物たちが主人公となってお話です。

その動物たちの会話を通して、本当に怖いものはコロナウイルスよりも私たち人間の心に見え隠れする、「差別や偏見の心」であること。しかし、温かい言葉や思いやりの心で打ち負かすことができることも学びました。最後は子供たちにティッシュや



蛍光ペンなどのプレゼントもいただきました。スライド芝居を見ながら真剣に学ぶ子供の姿も素晴らしかったです。

前日12月7日(水)は、運営・生活委員会の児童の皆さんが、人権の詩を紹介し、今月の生活目標「ふわふわ言葉をつかおう」を全校児童に呼びかけるオンライン集会を行いました。人権について深く考える一週間となりました。